



H29. 12. 15. №1367
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 第23回静岡県青年・女性漁業者交流大会

—県・県漁連—

県と県漁連は、12月1日、静岡県男女共同参画センターあざれあに於いて「第23回青年・女性漁業者交流大会」を開催しました。

大会では、静岡県経済産業部水産局 中平局長、県漁連 荒川会長が主催者挨拶を述べ、審査員、来賓紹介の後、以下の発表が行われました。

<実績活動発表>

- ① 「見られる 触れる 食べられる ～観光養鰻へのチャレンジ～」
天保養魚場 山下昌明さん
- ② 「美しい南伊豆の海を未来へ ～サンゴが息づくヒリゾ浜を紹介したい～」
伊豆漁業協同組合南伊豆支所西南部 高野克宏さん
- ③ 「Dead or Alive ～漁村の未来のために～」

沼津市漁業協同組合青壮年部連絡協議会内浦支部 中村永介さん
審査員7名（審査委員長：増元英人県水技研所長）による厳正な審査が行われた結果、「美しい南伊豆の海を未来へ ～サンゴが息づくヒリゾ浜を紹介したい～」を発表した、伊豆漁業協同組合南伊豆支所青年部 高野克宏さんが、最優秀賞（県知事賞）を受賞しました。これは、南伊豆町中木地区の地域活性化を目指し、美しい海ヒリゾ浜に多くの観光客を呼び込み、地域の賑わいを創出するとともに、環境を守る大切さを次世代に引き継いでいくための積極的かつ幅広い活動が高く評価されたものです。

また、最優秀賞の発表は、3月1日、2日に東京において開催される全国大会に県代表として推薦されました。

なお、会場では審査が行われている間、県立焼津水産高等学校 海洋科学科 航海類型3年 仲神響貴さんが「世界一のマグロ養殖を学ぶ in Croatia」と題して、研究成果を披露しました。

2. 第5回Fish-1グランプリ開催

11月19日、東京日比谷公園において「第5回Fish-1グランプリ（2017年度）」が開催されました。同コンテストは、11月16日～19日まで開かれた魚食推進イベント「ジャパン・フィッシャーメンズ・フェスティバル」の一環としてフェスティバル最終日の19日に同会場で開催されたものです。

コンテストは、全国各地の旬の魚を使った「漁師自慢の魚プライドフィッシュ料理コンテスト」と「地球を元気にする国産魚ファストフィッシュ商品コンテスト」の2部門で行われ、審査員と一般来場者に、1,000食づつ用意されたファイナリストの7料理・6商品をについて投票を募り、グランプリほか各賞を選出、「プライドフィッシュ料理コンテスト」で（仁科の真イカ・JF静岡漁連（JF伊豆漁協 仁科支所）の〈いか様丼〉がグランプリに輝き

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

ました。「プライドフィッシュ料理コンテスト」は、全国の都道府県漁連、漁協が四季ごとに旬の魚を選定したプライドフィッシュを使った料理コンテストで、グランプリを受賞した「いか様丼」は本県のプライドフィッシュ（仁科の真イカ）を使用し、刻んだたくあんと胡麻を混ぜ込んだ酢飯の上に素材そのままのイカの刺身と秘伝タレ漬けのイカをのせた2種類の味を楽しめる作品です。

当日は、グランプリ会場内でさかなクンによるトークショーや生きた魚介類と触れ合うタッチプール、各地の水産・海洋系高校生による展示ブースなども設けられ、大いに賑わいました。

3. 『しずおか食セレクション』新たに18商品等を認定

—静岡県—

多彩で高品質な農林水産物を産出する「食材の王国」である静岡県では、その県内農林水産物の中から、全国や海外に誇りうる価値や特長を備えた商品を県独自の認定基準に基づいて厳選し「しずおか食セレクション」として認定しています。

この取組みは、認定された商品等を戦略的にPRすることによって「食の都」づくりを進める静岡県のブランド力向上を図るとともに、県内産業の活性化に資するためのもので、この度、18の商品等が平成29年度認定商品等として決定し、11月20日静岡市内のホテルで表彰式が執り行われました。

本年度、食セレクションの認定を受けた漁協関係の商品は、3月末から4月の限られた時期に採取した芳醇な香りと柔らかな食感が特徴の「西伊豆産早摘みひじき」（伊豆漁協 西伊豆統括支所）、駿河湾の優れた水質と早い潮流の中で育った身のしまった良質な「いけすやの活あじ」（内浦漁協：沼津内浦漁協直営 いけすや）、買付日当日に急速凍結し、お刺身で食せる「お刺身用冷凍桜えび」（静岡県漁連）、伊豆沿岸の荒波に揉まれ、長く、太く、身詰まり良く育った「伊豆産ひじき」（静岡県漁連）の以上4商品です。

4. 漁船海難防止講習会を実施

—県下4漁協—

本会では、11月29日、本年度4回目の開催となる漁船海難防止講習会を伊豆漁協において開催しました。

漁船海難防止講習会は、漁船の海難及び海中転落による事故を防止し、操業の安全に関する普及啓発を行うことを目的として、就業後5年以内の漁業者とその所属漁協の組合員を対象に、各地区で開催しています。本年度は、南駿河湾漁協吉田支所（8月30日開催）、第2回由比港漁協（9月13日）、第3回静浦漁協（9月15日）で開催しており、今回が4回目の開催となります。

今回の講習会には、受講者20名が参加、下田海上保安部交通課より「ライフジャケット着用義務拡大について」解説を受けた後、国立研究開発法人水産研究・教育機構「水産工学研究所」水産土木工学部水産基盤グループ 佐伯公康主任研究員を講師に「漁業カイゼン講習会」が行われました。

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう